

# 猪之鼻奨学会

編集発行者

猪之鼻奨学会

千葉市中央区亥鼻1丁目8番1号  
〒260-8670 千葉大学医学部内  
電話 043-226-2509 内線 5024

創立 1915年(大正4年)

猪之鼻奨学会報 第17号 題字 井出源四郎(第八代千葉大学学長)

## 猪之鼻奨学会の歴史にながれる 先輩諸氏の熱き想い

医学研究院 教授 野村文夫

私は猪之鼻奨学会についてはこれまで漠然とした知識しかありませんでした。この度会報に寄稿を依頼され、奨学会の生い立ちに興味を持ちました。猪之鼻奨学会の歴史については鈴木正夫名誉教授が昭和43年に書かれた猪之鼻奨学会史の概要を平成19年に当時の会長の千葉胤道名誉教授がまとめられたものが、ホームページに掲載されています。

それによると、本奨学会の源は今から遡ること約1世紀で、大正4年の11月の千葉医学専門学校奨学会設立趣意書には「第一次世界大戦勃発にあたり、輸入に頼っていた医薬、機器等の途絶に遇って、わが国の医学振興の必要を痛感し、時あたかも大正天皇ご即位大札に際会したので、その記念を呼号して学内外に奨学会設立を呼びかけた」(発起人千葉医学専門学校長 三輪徳寛 他378名)とあります。当時の本学関係者の心意気が迫って来ます。

以後長きにわたり、若き研究者に対する研究補助、学生への学費貸与がなされ、多くの医学部・薬学部の学生や研究者がその恩恵に与ってきました。一件あたりの研究助成額は数十万円程度であっても、長い歴史を考慮するとその累計額は天文学的になり、千葉大学医学部・薬学部のこれまでの発展の貴重な糧となつていくことは間違いありません。

## 亥鼻移転と薬学研究

薬学研究院 教授 荒野泰

ご芳志によるほかはありません。本奨学会の設立とその維持に向けられた諸先輩方の心意気と熱き心に思いを馳せ、若き学徒たちへの皆様のご支援を何卒よろしくお願い申し上げます。

この2〜3年の研究助成対象者をみると文科省の科学研究費の若手クラスの方々が多く、猪之鼻奨学会による助成がその研究に大きく弾みをつけているものと推察されます。助成対象に選ばれた方々には本奨学会をこれまで培ってこられた先輩諸氏の熱い思いも合わせて受け止めていただきたいと思います。

関係の方々のご努力の結果、猪之鼻奨学会は平成24年4月より公益財団法人として千葉県から認可され、研究助成や奨学貸与の対象が千葉県内の医学・薬学関係者に広がり、また寄付行為に際して税制上の優遇措置を受けられるようになりました。昨今は利子収入が激減しているため、本奨学会の運営は皆様方の

薬学部・薬学研究院のすべての研究室が亥鼻を拠点とするようになって二度目の春も終わろうとしています。千葉大学の医療系三部が亥鼻に集結したことになります。同じ医療系ではありますが、薬剤師として働くよりも企業の開発、研究部門等へ就職する卒業生が多いところに医学部や看護学部と異なる薬学部の特徴があります。

亥鼻移転により、私たちが取り巻く日常風景が大きく変わりました。西千葉では、薬学部は理学部や工学部との境界に位置し、学生や教員は理工系や人文系学部の学生や教職員のなかで過ごしてきました。亥鼻に移転しますと、薬学研究棟から、医学部と附属病院とを往來する医師の姿を四六時中目にします。病院食堂では勤務中の医療従事者と、学生食堂では医学部や看護学部学生とのみ顔を合わせるなど、西千葉時代とは全く異なる環境となりました。こうした日常の変化

## 高額寄付者御芳名録(平成24年度)

(敬称略)

- 石川 達雄 (医) 千葉市
- 幸部 吉郎 (医) 千葉市
- 七夕の会 薬学部昭和53年卒業生有志
- 橋本 英明 (医) 東京都
- 服部 孝道 (医) 同和会理事長
- 薬友会 薬学部同窓会

## ご寄付のお願いと寄付金の税額免除のお知らせ

猪之鼻奨学会は、大正4年(1915年)に創立されて以来、多くの方々からの善意の寄付金により奨学事業を実施してきております。

平成24年4月1日「公益財団法人」として、新たにスタートした猪之鼻奨学会は、「定款」に謳いますよう、医学及び薬学の研究を奨励することを目的として、研究業績の優秀な者に研究費の補助、そして学資の欠乏を告げた学生に学資の貸与を行ないます。これらの事業を遂行するために、どうか皆さまのご支援・ご協力を宜しくお願い申し上げます。

一口5,000円ですが、ご都合により何口でも結構です。同封の郵便振替用紙にてお振込み下さい。

なお、「特定公益増進法人化にともなう寄付金の税額控除」に関しては、公益財団法人へ移行したことにより、本会が税制上の優遇措置の対象となる特定公益増進法人となりました。従って、個人によるご寄付の場合、所得の40%を上限として、ご寄付金額から2千円を差し引いた金額が、その年の課税所得から控除されます。法人によるご寄付の場合、一般の寄付金とは別枠で、特別損金算入限度額まで、損金の額に算入することが認められます。

今後とも、皆様方の一層のご指導ご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

公益財団法人猪之鼻奨学会 理事・評議員一同



# 平成24年度事業報告

自平成24年4月1日至平成25年3月31日

公益財団法人猪之鼻奨学会

## 1. 事業の状況

(1) 研究補助金(総額150万円)の助成 内訳 各50万円 3件

千葉大学大学院 医学研究院 7名、薬学研究院 1名の応募者のうち下記の3名に交付されました。

交付研究者	所属	研究領域	研究題目
谷口俊文	千葉大学大学院 医学研究院	分化制御学	Follicular Helper T細胞とB細胞の抗体産生における相互作用とメカニズムの解明
八巻智洋	千葉大学大学院 医学研究院	脳神経外科	新鮮ヒト手術検体より作成するガン幹細胞モデルを用いたMyc.p53関連遺伝子に関する腫瘍悪性化機序研究
根本哲宏	千葉大学大学院 薬学研究院	薬化学	医薬化学研究への応用が期待される縮環性有機分子の効率合成法の開発

(2) 奨学金の貸与 白鳥 太一 川村 美香 各30万円

(3) 薬草園の整備管理 10万円

(4) 猪之鼻奨学会会報の発行 13,000部発行

## 収支計算書

平成24年4月1日から平成25年3月31日

公益財団法人猪之鼻奨学会

(単位:円)

科 目	予算額	決算額	差異	備考	科 目	予算額	決算額	差異	備考
I. 収入の部					II. 支出の部				
1. 基本財産運用収入					1. 事業費				
基本財産利息収入	530,000	520,342	△ 9,658		研究の助成金				
事業収入	100,000	0	0	奨学金返還金	(1) 研究補助金	1,500,000	1,500,000	0	
2. 寄付金収入					奨学貸費金	300,000	600,000	△ 300,000	1名増
寄付金収入	1,500,000	2,811,000	1,311,000		事業費合計	1,800,000	2,100,000	△ 300,000	
3. 雑収入					2. 管理費				
受取利息	10,000	35,293	25,293		(1) 給料	700,000	635,868	64,132	
雑収入	0	50,004	50,004		(2) 旅費	20,000	21,420	△ 1,420	
4. 基金収入					(3) 手当・謝金	50,000	50,000	0	選考委員
特定預金取崩し収入	1,500,000	1,500,000	0		(4) 事務備品費	10,000	0	10,000	
当期収入合計(A)	3,640,000	4,916,639	1,276,639		(5) 消耗品費	20,000	25,419	△ 5,419	
前期繰越収支差額	200,000	696,077	496,077		(6) 印刷費	170,000	173,520	△ 3,520	
収入合計(B)	3,840,000	5,612,716	1,772,716		(7) 光熱水料	0	0	0	
					(8) 賃借料	27,000	28,281	△ 1,281	
					(9) 通信運搬費	20,000	20,430	△ 430	
					(10) 会議費	15,000	15,889	△ 889	
					(11) 記念品費	0	0	0	
					(12) 薬草園整備費	100,000	100,000	0	
					(13) 雑費	120,000	74,390	45,610	
					(14) ホームページ関連費	50,000	52,500	△ 2,500	
					管理費合計	1,302,000	1,197,717	104,283	
					3. 基本財産引当国債支出	0	0	0	
					4. 研究助成基金預金支出	0	1,400,000	△ 1,400,000	
					5. 予備費	100,000	271,500	△ 171,500	千葉市法人市民税及び延滞金
					当期支出合計(C)	3,202,000	4,969,217	△ 1,767,217	
					当期収支差額(A)-(C)	438,000	△ 52,578	490,578	
					次期繰越収支差額(B)-(C)	638,000	643,499	△ 5,499	

編
集
後
記

新緑の香り漂う中若人らの語らいが聞かれる初夏、紅葉に染まるキャンパスに響く亥鼻祭の秋、房総の木枯らしが吹きすさぶ中気鋭の息吹満ちる冬、そして、桜花の衣に身をまといつつ巣立つ若人を見送りつつも新たな若き命を育み始める春の台地、亥鼻山。

そのような輪廻を昭和の時代から見つめてきた猪之鼻奨学会は、多くの先生方の叡知の結晶として、昨年より、公益法人としての活動をしております。即ち、千葉県の監督を受けることより、県下全ての医学・薬学関連の学究活動における支援を始動しております。本紙は、活動内容を報告する年一度の発行紙です。インターネット上のホームページと共にご覧いただき、本会へのご理解をいただければ幸いです。その上で、活動の基が皆様のご寄付でありますので、ご支援の程を切望する次第です。なお、寄付金については、税法上の優遇処理を受けられますことを勘案の上、ご対処をお願い申し上げます。

2013年(平成25年) 4月吉日  
 (猪之鼻奨学会会長 鈴木 信夫)

財団法人猪之鼻奨学会募金結果報告

千葉大学医学部・薬学部同窓会員

および関係者各位 殿

平素より財団法人猪之鼻奨学会の事業につきましましては、多くの方々のご理解とご協力を賜り感謝申し上げます。

平成24年度に実施されました募金は、下記のように、大勢のご賛同をご協力が得られました。ここに報告させていただきます。

ご寄付いただきました金員は、猪之鼻奨学会の事業費として有効に活用させていただきました。お蔭様を持ちまして平成24年度における助成件数は5件で、総額210万円により奨学金と研究助成金を交付することができました。

今後も、皆様方の暖かいご支援とご指導をいただきながら当奨学会の発展に理事・評議員共に更なる努力を重ねる所存です。ここに深甚なる謝意を表するとともに、皆様方のご健勝とご発展を祈念申し上げます。

記

募金件数 九十八件  
募金総額 二、八一、〇〇〇円

平成二十五年五月一日

公益財団法人猪之鼻奨学会  
理事・評議員一同

柴崎	嶋田	獅子原	幸部	小林	黄田	小山	香田	草刈	許	菊池	北島	木口	木村	加来	河内	門脇	片倉	鏡味	大宮	大隅	奥田	石川	石川	稲葉	岩本	伊藤	伊藤	石下	石田	市川	安食
宏子	俊恒	正樹	吉郎	弘忠	悦子	哲夫	眞一	隆	奎璋	義公	忠昭	博之	敦史	俊貞	文雄	淳	透	勝	茂	幸	桂子	達雄	昌子	憲之	逸夫	進	稔	峻一郎	久枝	智彦	親孝
長野県	千葉市	東京都	千葉市	習志野市	東京都	茨城県	千葉市	千葉市	栃木県	埼玉県	東京都	流山市	千葉市	千葉市	千葉市	栃木県	銚子市	茨城県	栃木県	東京都	千葉市	千葉市	埼玉県	千葉県	千葉県	東京都	千葉県	埼玉県	千葉県	千葉県	神奈川県

林	橋本	服部	野口	西原	西川	二村	中野	中村	中村	中村	長尾	中村	中村	徳重	寺島	塚原	角田	津村	千葉	田所	玉井	滝口	瀬川	砂田	鈴木	鈴木	鈴木	諏訪	鈴木	鈴木	杉林
雅意	英明	孝道	眞利	尚史	哲男	静子	緑一	和則	正子	眞人	美奈子	清吾	和郎	克彦	東洋三	重雄	隆文	澄雄	胤道	重紀	輝章	裕一	襄	荘一	康夫	重紀	邦子	靖	東洋	正巳	昭男
千葉市	東京都	船橋市	東京都	東京都	千葉市	静岡県	市原市	千葉市	京都府	千葉市	神奈川県	東京都	千葉県	四街道市	千葉市	山梨県	東京都	船橋市	千葉市	千葉市	埼玉県	船橋市	東京都	千葉市	愛知県	市原市	神奈川県	千葉市	静岡県	市川市	

渡辺	渡辺	渡辺	渡辺	吉原	芳野	谷嶋	谷嶋	山本	山本	山口	村松	水島	増村	堀部	堀部	細井	布施	古川	深山	深山	古木	深町	檜垣	平山	長谷川	長谷川	萩巢
孝太郎	和夫	高穂	武	寛	春生	つね	俊雄	和夫	日出樹	宗彦	正明	俊夫	道雄	秀俊	武	湧一	吉弘	斎	敏江	立	新	唯博	有徳	恵子	二郎	洋機	敏子
茨城県	千葉市	埼玉県	船橋市	広島県	柏市	千葉市	千葉市	習志野市	愛媛県	千葉市	東京都	茨城県	兵庫県	茨城県	千葉市	船橋市	千葉市	千葉市	東京都	茨城県	香取市	北海道	東京都	茨城県	東京都	東京都	船橋市

平成二十五年三月三十一日現在

総合計 二、八一、〇〇〇円